

学生の本音

NG 課題が多い!

いつもなら週末は自由に過ごしていたのに、課題がたくさんあって、休日にも休む暇がなく大変!

GOOD 時間を有効活用できる!

メイクをしなくていいから朝の支度が楽!

1年生だったが、時間がたくさんあったので、初めての一人暮らしに慣れやすいところが良かった!

ハプニング発生



猫が侵入!
講義中に先生の猫が...とても癒やされる~!

お子さんかな?
たまに、先生の声に混ざって、遊んでいるお子さんの声とかも聞こえてきたよね(笑)

繋がらないよ~
たまに Wi-Fi や学務情報システムが繋がらなくて、あせった..(汗)

それで授業が止まってしまっていて進まなかった時もあるよね..

なんだかなあ...
なんか春休みが終わった感じも、夏休みが始まった感じもしないなあ

学生目線の GOOD NG



オンラインあるある



先生の本音

オンラインではチャットなどで気軽に発言や質問ができるのは良い点ですね

動画や録画は共有しやすく、教師としても自分の授業の確認や反省ができます

Zoomなどで顔を見ながら授業を行うと、全員が最前列に座っている気分なので、緊張が維持されるのではないのでしょうか

動画配信の授業でも、対面授業と同じ時間に視聴してくれると嬉しいですね

様々な人をゲストとして呼びやすいことが大きな利点です

準備は大変ですね。動画を撮るときも、学生の反応がないと、やりにくいし、取り直しも大変です

どのように学生同士の意見交換の機会を作ろうか悩みどころです

Wi-Fi 環境や動画の撮影・配信の設備を整えておくのも大変!

議論の雰囲気や流れ、学生の細かい表情の変化が伝わりにくい

テレワークとそうではないものを区別することで、より有効に活用できるのではないのでしょうか

静大生 オンライン授業どうしてた?

4月から新しい生活のスタート!...と思いきや、コロナ禍で対面授業の延期と初めてのオンライン授業の導入。から改めて振り返り、よりよい活用を探していきたいですね!

広報学生委員会 (SU-NOW) 企画

人文社会科学部

- 今までテストのみで評価されていた学科でも、期末はレポート:オンラインテスト=9:1 書籍を読んでその考察や感想を述べる課題も!
→在宅ならではの授業と感じた!
- メールでの質問も、早い返答でありがたかった!
- オンラインテストでは、学情のサーバーがダウンしてしまい、急遽レポートに変更されたものも!
- レポートは時間をかけられるのでよかったが、しっかり準備してきた人にとっては残念(泣)

地域創造学環

- 例年は、フィールドで調査する授業が多いのですが、今年はフィールドワークができず
→来年度の活動成果発表がどうなるのかを心配する声も...
- フィールドワークに代わった調査をする授業や、例年とは違ったシステムや手順を採用している授業もある
→今年度ならではの授業!

教育学部

- もともとディスカッションをする機会が多い学部なので、みんなと直接会えない中では、Zoomを使ってディスカッションをすることも!
→しかしその頻度は減少...
- 模擬授業を自宅で撮影して、その動画をオンラインで共有してディスカッションする授業が印象的!
- 普段は送られてくる資料をもとに勉強
→資料が100枚越えのえげつない量ときもあり大変だった...

情報学部

- オンデマンドやZoomを使う授業など形態はさまざま! Teams, YouTube, Power Pointなどが使われることも!
中でもPowerPointだと一時停止や早送りができないので少々不便...
- 先生によっては、質問のある人などが自由参加できるミーティングも用意されているようです

理学部

- 白衣を着て保護メガネを装着して、何やら危なげな実験をしているイメージの理学部! ですが今年は積極的な実験が実施できず...
- 通常の実験は、みんなで同じ器具を触ったり、顕微鏡をのぞいたり、ヘルメットをかぶったりと、共同実験はソーシャルディスタンスが保てません!
→対策として、資料をもとにレポートの作成のみを行う形態に
- 学科や学年によっては、人数や時間を制限して実験しているところも!

工学部

- 研究室に所属している4年生にとっては、オンデマンド方式の講義はいつでも受講可能なため、講義のためにいちいち研究室を抜けることがなくなった
→オンデマンド方式の講義は、研究室活動にとっては好都合
- 先生と意思疎通が図りにくいのが残念

農学部

- 実験の待ち時間が減り、待ち時間の有効活用が可能に!
- 研究室に所属している4年生は、対面授業が始まるまでの約2ヶ月の間研究ができず、のっけから遅れが...
→卒論が間に合うか心配...
- 研究室に行けるようになった今も、ソーシャルディスタンスを保ちつつの実験
→実験器具などを机の上に広げられるのはかえって便利かも!

広報学生委員会: 田口 実花子 千頭和 良彰 新井 璃子 大野 ほか 武田 葉奈 藤井 七夢